

令和4年8月16日

浦添市議会議長 殿

文教委員会
委員長 比嘉 武宏

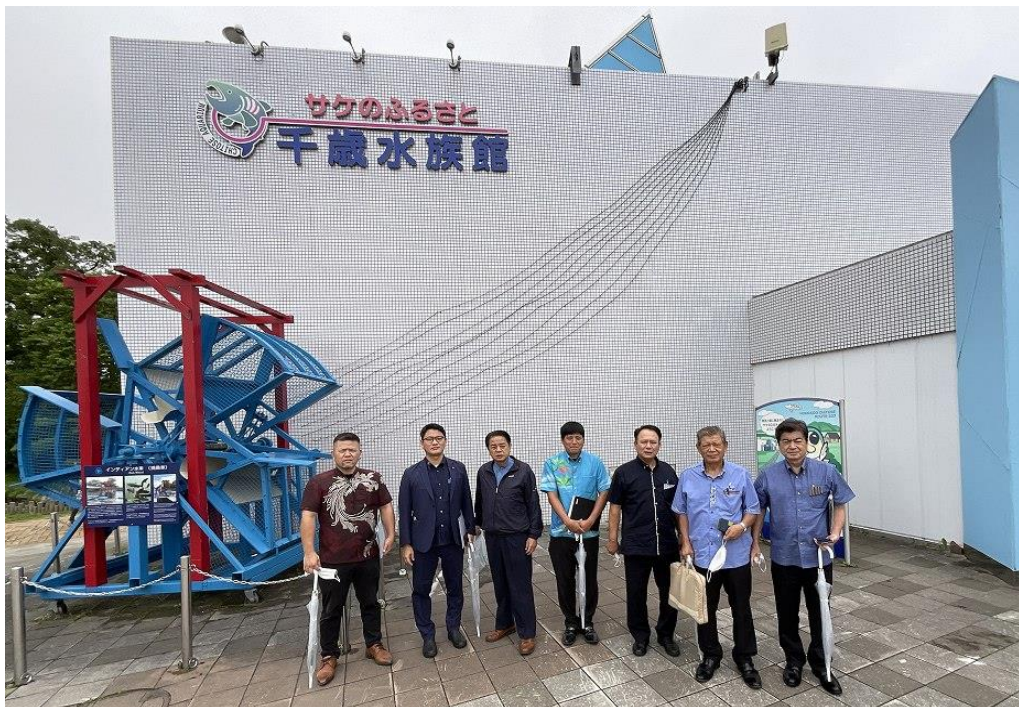
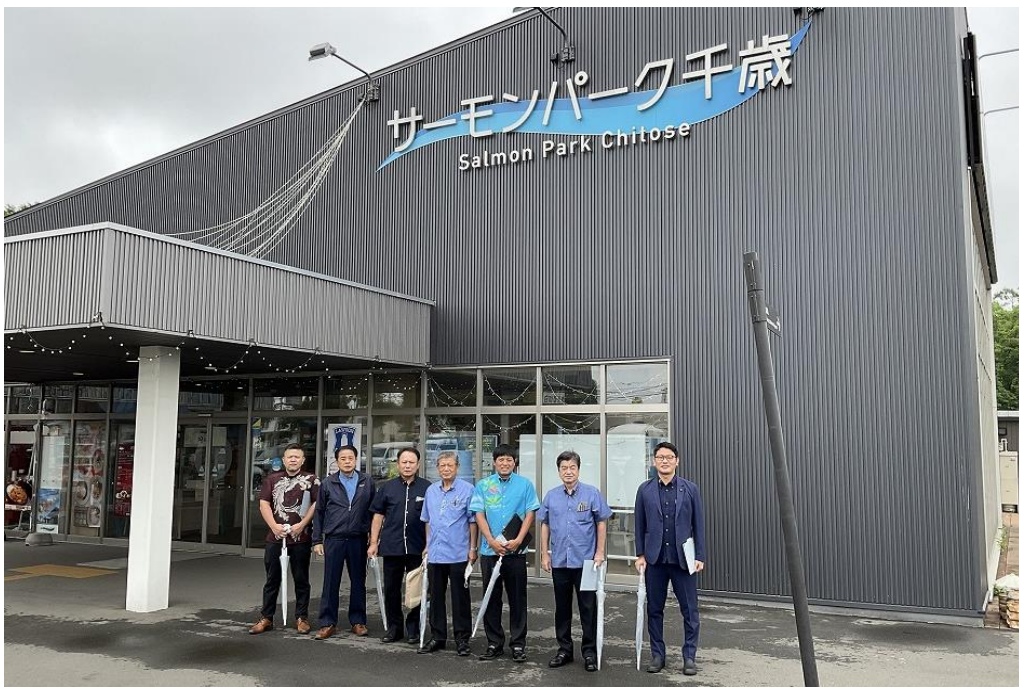
文教委員会視察報告書

令和4年6月29日から令和4年7月1日まで、委員会視察を実施いたしましたので、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|---------|---|
| 1 視察期間 | 令和4年6月29日（水）～令和4年7月1日（金） |
| 2 視察場所 | 北海道千歳市、北海道札幌市 |
| 3 視察項目 | 道の駅「サーモンパーク千歳」について
札幌市図書・情報館について |
| 4 視察参加者 | 比嘉 武宏（委員長） 仲間 烈（副委員長） 又吉 正信
金城 大輔 銘苺 幸乃助 當間 清春 比嘉 克政 |
| 5 調査内容 | 別紙のとおり |

視察日	令和4年6月30日（木）
視察先	北海道千歳市 人口 97,578 人 （令和4年6月現在） 市面積 594.5 km ² 議員定数 23 人
視察市の概要	
<p>北海道の中南部・石狩平野の南端に位置しており、札幌市や苫小牧市など4市4町に隣接し、札幌市へはJRの快速エアポートを利用すると約30分で到着する。また、新千歳空港については、令和元年まで、年間乗降客数が6年連続で過去最高（令和元年は2,460万人）を更新していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により航空需要が激減し、令和2年は約930万人となった。市域は東西に細長く、市域西部は那須火山帯に属する1,000m級の活火山が連なる山岳地帯で、国立公園支笏湖ちいきを形成している。中央部はほぼ平坦で、市街地をはじめ工業団地、飛行場、自衛隊駐屯地、農業地などに利用され、東部は丘陵地帯で主に農業に活用されている。</p>	
調査項目	
道の駅「サーモンパーク千歳」について	
調査理由	
<p>本市においては、沖縄都市モノレール浦添前田駅周辺を「観光交流拠点」に位置付けており、観光交流拠点施設整備を進めている。そこで千歳市市街地観光の核となる施設とするため再整備を行った「道の駅」を視察し参考とすることを目的とした。</p>	
調査内容	
<p>(1) 道の駅「サーモンパーク千歳」の概要 (2) 導入の経緯 (3) コロナ禍前の状況（リニューアルからの観光客等利用者数など）について (4) リニューアルにあたり観光客を集客するため新たに整備したものや、行った取組などについて (5) 成果や今後の課題について</p>	
考察	
<p>住宅街にある道の駅で、住民の方が立ち寄れる道の駅をコンセプトにイベント広場やフードコート、農産物直売所、コンビニ等も設置されており平日でも賑わい、週末になると公園や水族館を訪れる人も多くなり駐車場がいっぱいになるとのこと。 キッズスペースにも力を入れていたがトイレ整備にも力を入れており、北海道127の道の駅で「トイレがきれいだと感じた部門」4年連続で1位を獲得し、設計も斬新で驚きのトイレとなっていた。 全体の運営については、駐車場や公園等は市の維持管理で行っており、建物だけの運営を指定管理で行っている。民間活力導入で指定管理料を0円と設定し、収益の50%を市に納付する契約を結んでいる。 浦添市には道の駅はないが、今後整備される観光拠点施設や、キャンプ・キンザー返還に伴い「道の駅構想」を展開できることを期待している。</p>	



視察日	令和 4 年 6 月 30 日 (木)
視察先	北海道札幌市 人口 1,973,845 人 (令和 4 年 6 月現在) 市面積 1121.26 km ² 議員定数 68 人
視察市の概要	北海道・石狩平野の南西部に位置する札幌市は、大正11年の市制施行以来、近隣町村との度重なる合併・編入によって、市域を拡大してきた。新千歳空港から札幌間の移動は鉄道やバスなどが利用でき、JR新千歳空港駅からは快速列車で37分で札幌駅に到着する。人口は北海道の人口の約3割となっており、東京、横浜、大阪、名古屋に次いで、全国5番目の人口規模となっている。
調査項目	札幌市図書・情報館について
調査理由	札幌市図書・情報館は「Library of the Year2019」の大賞とオーディエンス賞を受賞している。その先進的で特色ある取組を学び、これからの図書館の在り方として参考にすることを目的とした。
調査内容	(1) 札幌市図書・情報館の概要について (2) これまでの一般的な公立図書館との違いについて (3) 「課題解決型図書館」をコンセプトとして開館した理由や経緯について (4) 貴館のサービス内容について (5) 貴館主催のセミナーやイベント等の内容について
考察	ゆったりとしたおしゃれな空間で、1階がサロン空間と北海道・札幌の魅力を伝えるエリア。2階はWORK（仕事に役立つ）、LIFE（暮らしを助ける）、ART（芸術に触れる）の3つのエリアに分けられており本の並べ方次第で利用者が望んだときにいつでも閲覧ができるようにしている。また、探し物が見つからないときは司書がお手伝いをするので、気軽に声かけができるコーナーを設けたり、起業・経営・法律などの専門機関の相談窓口も定期的に開いている。 また、音楽（BGM）を流したり、本を貸し出さない図書館、おしゃべりをしていい図書館ということで、珍しい図書館であるが、本を通して市民の課題解決や交流が広がることを目的としていて多くの工夫があった。 時代になる人材を育て魅力ある図書館で、まちづくりの一助となる当館のような新しいスタイルの専門的図書館が浦添市でも成立しえるのではないだろうか。

